



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社イワキ 上場取引所 東
コード番号 6237 URL <https://www.iwakupumps.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤中 茂
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 井上 誠 TEL 03-3254-2931
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,436	26.0	2,805	136.6	3,270	48.3	2,188	△26.7
2023年3月期第2四半期	17,810	14.3	1,185	12.0	2,205	44.6	2,987	150.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,274百万円 (△15.8%) 2023年3月期第2四半期 3,890百万円 (166.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	99.46	—
2023年3月期第2四半期	136.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	49,241	31,525	63.6
2023年3月期	45,251	28,869	63.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 31,307百万円 2023年3月期 28,706百万円

(注) 2024年3月期第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	27.00	—	34.00	61.00
2024年3月期	—	21.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	27.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,181	17.1	3,920	60.5	4,302	9.4	3,115	△29.2	141.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	22,490,910株	2023年3月期	22,490,910株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	410,761株	2023年3月期	519,393株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	22,007,733株	2023年3月期2Q	21,938,026株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月27日（月）に機関投資家及びアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用の四半期決算説明資料は、事前に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、設備投資が持ち直しの動きをみせており、堅調な企業収益などを背景に、同様の傾向が続くことが期待されます。一方で、世界的な金融引き締めや中国における景気減速の可能性など、海外景気下振れによる国内景気への影響リスクは依然として残っており、先行き不透明な状況が続いております。

こうした状況の下、企業価値向上に向けた取り組みとして、「ソリューションで勝つ」を基本方針にした活動を国内では展開しております。海外においては世界15ヵ国21社の関係会社と連携し販売拡大を図るとともに、「イワキグループ10年ビジョン」の定量目標「2025年3月期連結売上高400億円、営業利益率10%」達成に向け、「オールイワキで世界No. 1を提供する」の方針のもと、各種施策の実行に取り組んでまいりました。

その結果、前第4四半期連結会計期間より新たに損益取り込みとなった中国子会社の影響もあり、市場別は、全ての市場が好調に推移しました。中でも医療機器市場は中国向けを中心に大幅伸長しており、売上高は3,849百万円（前年同期比45.7%増）となりました。その他にも、水処理市場の売上高は5,175百万円（前年同期比24.6%増）、半導体・液晶市場の売上高は4,335百万円（前年同期比22.0%増）と全体を牽引しております。

地域別では、アジア地域を除き、好調に推移しました。国内は、医療機器市場を中心に伸長した結果、売上高は10,373百万円（前年同期比12.0%増）となりました。海外では、米国は引き続き水処理市場が全体を牽引した結果、売上高は3,415百万円（前年同期比22.5%増）となりました。欧州は化学市場を中心に好調に推移し、売上高は2,794百万円（前年同期比29.2%増）となりました。アジア地域は、台湾の半導体・液晶市場、表面処理装置市場での売上不調などが続いており、売上高は1,523百万円（前年同期比1.9%減）となりました。中国は、中国子会社の業績寄与影響もありますが、半導体・液晶市場、医療機器市場を中心に大幅増収となった結果、売上高は3,365百万円（前年同期比164.5%増）となりました。

製品別では、全体的に好調に推移しております。主力製品であるマグネットポンプ、定量ポンプは共に二桁増で推移、医療機器市場をメインとする回転容積ポンプは売上高1,436百万円（前年同期比58.1%増）と大幅増収の結果となりました。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結売上高は22,436百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

前第4四半期連結会計期間より新たに損益取り込みとなった中国子会社の影響や新規連結以外の増収効果もあった結果、営業利益は2,805百万円（前年同期比136.6%増）となりました。中国子会社化に伴い営業外収益の持分法による投資利益が減少したことや、為替差益の減少などにより、経常利益は3,270百万円（前年同期比48.3%増）となりました。前第2四半期連結会計期間は特別利益の段階取得に係る差益の発生があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,188百万円（前年同期比26.7%減）となりました。

また、当社グループはケミカルポンプ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は36,052百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,865百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,489百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が667百万円、商品及び製品が887百万円、電子記録債権が309百万円増加したことによるものであります。固定資産は13,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が66百万円、のれんが63百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は49,241百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,989百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は15,107百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,390百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が585百万円、電子記録債務が461百万円、支払手形及び買掛金が305百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が77百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は17,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,333百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は31,525百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,656百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が1,441百万円、為替換算調整勘定が1,060百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.6%（前連結会計年度末は63.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月12日に公表した見通しから変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,927,985	10,417,178
受取手形、売掛金及び契約資産	7,010,044	7,678,010
電子記録債権	4,497,381	4,806,523
商品及び製品	5,650,511	6,537,947
仕掛品	141,397	206,205
原材料及び貯蔵品	5,228,772	5,467,586
その他	798,971	1,012,611
貸倒引当金	△67,781	△73,472
流動資産合計	32,187,283	36,052,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,144,787	8,306,414
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,202,592	△4,375,734
建物及び構築物 (純額)	3,942,195	3,930,679
機械装置及び運搬具	3,496,770	3,599,534
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,997,027	△3,084,051
機械装置及び運搬具 (純額)	499,743	515,483
工具、器具及び備品	2,276,945	2,382,180
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,902,462	△1,980,847
工具、器具及び備品 (純額)	374,483	401,333
土地	1,049,205	1,057,317
リース資産	346,955	311,526
減価償却累計額	△199,803	△167,761
リース資産 (純額)	147,151	143,765
建設仮勘定	42,148	81,697
その他	760,975	763,397
減価償却累計額	△379,543	△401,838
その他 (純額)	381,432	361,559
有形固定資産合計	6,436,360	6,491,835
無形固定資産		
のれん	2,345,822	2,409,358
商標権	19,672	15,356
その他	1,084,045	886,729
無形固定資産合計	3,449,539	3,311,444
投資その他の資産		
投資有価証券	1,397,352	1,464,034
繰延税金資産	615,044	649,205
退職給付に係る資産	789,245	798,046
その他	376,774	474,428
投資その他の資産合計	3,178,417	3,385,714
固定資産合計	13,064,318	13,188,994
資産合計	45,251,601	49,241,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,687,101	3,992,411
電子記録債務	4,307,453	4,769,196
短期借入金	1,170,500	1,297,583
1年内返済予定の長期借入金	155,000	155,000
リース債務	116,468	124,275
未払法人税等	331,446	916,459
契約負債	652,603	731,519
賞与引当金	1,203,618	1,203,518
役員賞与引当金	325,307	64,116
製品保証引当金	100,995	103,738
その他	1,666,901	1,749,648
流動負債合計	13,717,396	15,107,467
固定負債		
長期借入金	1,167,500	1,089,999
リース債務	118,987	104,744
繰延税金負債	56,559	24,199
退職給付に係る負債	82,552	91,263
資産除去債務	222,551	223,091
その他	1,016,606	1,074,844
固定負債合計	2,664,758	2,608,143
負債合計	16,382,155	17,715,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044,691	1,044,691
資本剰余金	674,127	713,604
利益剰余金	25,531,082	26,972,905
自己株式	△519,765	△411,088
株主資本合計	26,730,134	28,320,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	530	2,499
為替換算調整勘定	1,157,911	2,218,734
退職給付に係る調整累計額	817,833	766,424
その他の包括利益累計額合計	1,976,275	2,987,658
非支配株主持分	163,036	218,202
純資産合計	28,869,446	31,525,973
負債純資産合計	45,251,601	49,241,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,810,912	22,436,148
売上原価	11,838,102	13,510,713
売上総利益	5,972,809	8,925,435
販売費及び一般管理費	4,787,070	6,120,374
営業利益	1,185,738	2,805,060
営業外収益		
受取利息	661	19,114
受取配当金	16,903	19,053
持分法による投資利益	730,573	351,892
為替差益	249,411	69,452
その他	43,195	69,648
営業外収益合計	1,040,746	529,161
営業外費用		
支払利息	13,377	41,470
支払手数料	4,006	3,756
譲渡制限付株式報酬償却損	406	—
繰延報酬制度に係る費用	—	15,663
その他	2,893	2,851
営業外費用合計	20,684	63,741
経常利益	2,205,801	3,270,480
特別利益		
投資有価証券売却益	3,869	2,555
段階取得に係る差益	1,297,060	—
その他	229	—
特別利益合計	1,301,158	2,555
特別損失		
固定資産除却損	707	1,268
固定資産売却損	—	55
特別損失合計	707	1,323
税金等調整前四半期純利益	3,506,251	3,271,712
法人税等	505,133	1,016,329
四半期純利益	3,001,118	2,255,382
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,341	66,528
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,987,776	2,188,854

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,001,118	2,255,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,796	1,732
為替換算調整勘定	655,221	991,093
退職給付に係る調整額	△55,049	△51,409
持分法適用会社に対する持分相当額	291,309	77,632
その他の包括利益合計	889,685	1,019,048
四半期包括利益	3,890,804	3,274,431
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,873,472	3,200,237
非支配株主に係る四半期包括利益	17,332	74,194

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2022年9月30日に行われた易威奇有限公司及び易威奇泵业国际贸易(上海)有限公司との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額2,365,446千円は、会計処理の確定により515,141千円減少し、1,850,305千円となっております。のれんの減少は、無形固定資産その他が687,421千円、繰延税金負債が146,460千円、非支配株主持分が25,818千円増加したことによるものです。

また、前連結会計年度末ののれんは466,017千円、繰延税金資産は40,110千円、利益剰余金は140,689千円それぞれ減少し、無形固定資産その他は447,563千円、繰延税金負債は56,559千円、為替換算調整勘定は7,425千円、非支配株主持分は18,140千円それぞれ増加しております。